

2006. 3. 24

学生協ニュース

No.48

東 北 大 学
(学生生活協議会広報委員会)

川内北キャンパスサークル部室に対し 警察の搜索が行われました

3月23日(木)午前7時2分から午前8時41分にかけて、警視庁により川内北キャンパスサークル部室G-4(川内寮問題を考える会)の家宅搜索が行われました。搜索には教員2名と学生1名が立会いました。搜索の際、顔をタオルやサングラスで覆ったり、日就寮と記されたヘルメット姿の学生ら20名弱の学生によるアジ演説、シュプレヒコール等がありましたが、暴力に至る妨害行為や過激な行動はありませんでした。

今回の家宅搜索は、3月14日(火)に法政大学(東京都千代田区)の敷地内で同大学職員による立看板撤去を妨害したとして、本学の学生数名を含む29人が建造物侵入及び威力業務妨害の疑いで警察に逮捕されたことに関連しています。東北大学、富山大学、九州大学にある中核派系全学連の活動拠点が搜索の対象となりました。搜索については、3月24日付け河北新報朝刊に報道されています。

今回の搜索は、他大学で起きた威力業務妨害に関連するものであり、搜索が本学のサークル活動に何ら影響を及ぼすものではありません。しかし、本学学生が関与したとはいえ、他大学で発生した威力業務妨害のために本学が搜索を受ける事態は本学の自由を著しく損なうものであり、本学として深く憂慮しています。